

## MACF 礼拝説教要旨

2023年2月5日

「からしだね」

ルカによる福音書 13章 18～20節

18 そこで、イエスは言われた。「神の国は何に似ているか。何にたとえようか。19 それは、からし種に似ている。人がこれを取って庭に蒔くと、成長して木になり、その枝には空の鳥が巣を作る。」

20 また言われた。「神の国を何にたとえようか。21 パン種に似ている。女がこれを取って三サトンの粉に混ぜると、やがて全体が膨れる。」

\*\*\*

イエス様は神の国をたとえてお話になっています。この箇所はマタイによる福音書 13章 31～に同じ内容が書かれています。

神の国というのは場所や地域のことではありません。

パウロの言葉を借りれば

「17 神の国は、飲み食いではなく、聖霊によって与えられる義と平和と喜びなのです。」（ローマの信徒への手紙 14章 17節）

とあり神様の働きによってもたらされる「義（解放）と平和と喜び」が存在する心と関係のことと理解することができます。

わたしとあなた（方）との間に、あなたと誰かの間に「神様の働きによる解放と平和と喜び」があるなら、そこに神の国はあるのだということです。つまり、そこに神様はおられるのです。

そして、その始まりは「からし種」ほどの小さいものであり、気づかなければそのまま風に吹かれて飛ばされてしまうようなものだということです。でも、それが共有され、一緒に大切にしていっただら、やがて大きな木になり鳥たちが枝に巣を作れ

るほど大きく成長するのだとイエス様は教えてくださいました。

これは今のわたしたちに何を語っているのでしょうか。

実はわたしたちのいのちと存在はとても小さなものでした。

しかし、そこに愛があり、神のわざがあったとすれば、あなたの誕生自体が「神の国の味わい」とつながっていたことになります。

また、わたしたちが神様の愛を心に留めながら、誰かと挨拶を交わし、そこに喜びと平安がもたらされるなら、そこに神の国は訪れていることになるでしょう。

「種が撒かれる」というのは、そういうことだと思えます。

その関わりが深くなればなるほど、神の国の祝福は、その交わりの中でも個人にとっても、とても大きなものになってくると思えます。

ただ、あまりに、当たり前、小さなことなので、それが「神の国の種まきに通じる」とは感じないし、考えることもなかなかできません。

わたしたちはいつの間にか、神の国の「完成形」を心に留めすぎて、その過程や発展、展開について少し「短絡的」になっているかもしれません。

つまり、神様が触れてくれたら、全て、すぐに

「解決し完全なものとして出来上がるような気持ち」を持ちやすいのです。

イエス様の話を聞いて、あるいは礼拝に参加して、少しずつ聖書に興味を持ち、イエス様に興味を持つというプロセスはとても貴重なものであり、大切です。それはまさにからし種ほどの

信頼や好奇心、神様に向かう心が育っているプロセスだからです。

その段階では自分はクリスチャンなのか、聖書をわかっているのか自信もなければ、確信もないかもしれません。

それでも神の国の種は確実にその人の心に撒かれているのです。

そして、小さな発見、小さな気づき、ちいさな営みの中に「神様による解放や平和や喜び」を感じつつ、成長し成熟するのだと思います。

こういう礼拝説教を読んだり聞いたりしたくなる心の中には神の国の種が、からし種ほどの大きさだとしても、間違いなく撒かれています。

それはやがて、自覚され、自分の思い以上に大きな実りを経験することになると思います。

また、他者と一緒に喜んだり、分かち合ったりしながら間違いなく成長するのだと思います。

自分の中からからし種ほどかもしれませんが、神の国の種が撒かれていると感じ、感謝できたらいいですね。

そこに希望があるからです。

種はしっかり土の中に包み込まれることがなければ成長はありません。同じようにあなたの心の中にしっかり根付くかたちでイエス様からの愛が感じられるようになりイエス様を礼拝することが喜びとなってきたら、今朝の御言葉はまちがいはなく、あなたの出来事とつながります。

気づくということは実に大切です。

それは他者の心に気づくだけでなく、自分の心にも気づき同時に四季折々の空気の変化、植物や花などの変化、鳥の羽の色への気づきなど、そういうところにも「神の国の種」はたくさん撒かれ、置かれていると思うのです。

ちょっと足を止めること、ちょっと丁寧にメールで連絡をとってみること、ちょっと心を鎮めて聖書の言葉に向かい、読み直し、感じ取ってみることなど、小さいことへの気づきはとても大切です。

この詩を載せておきます。

\* \*

最初の質問 <長田弘>

今日あなたは空を見上げましたか。

空は遠かったですか、近かったですか。

雲はどんな形をしていましたか。

風はどんなにおいがしましたか。

あなたにとって、いい一日とはどんな一日ですか。

「ありがとう」という言葉を今日口にしましたか。

窓の向こう、道の向こうに、何が見えますか。

雨の滴をいっぱいためたクモの巣を見たことがありますか。

樅の木の下で、あるいは櫻の木の下で、立ち止まったことがありますか。

街路樹の木の名前を知っていますか。

樹木を友人だと考えたことがありますか。

この前、川を見つめたのはいつでしたか。

砂の上に座ったのは、草の上に座ったのはいつでしたか。

「美しい」と、あなたがためらわず言えるものは何ですか。

好きな花を七つ、挙げられますか。

あなたにとって「わたしたち」というのは、だれですか。

夜明け前に鳴き交わす鳥の声を聞いたことがありますか。

ゆっくりと暮れていく西の空に祈ったことがありますか。

何歳の時の自分が好きですか。

上手に年を取ることができると思いますか。

世界という言葉で、まず思い描く風景はどんな風景ですか。

今あなたがいる場所で、耳を澄ますと、何が聞こえますか。

沈黙はどんな音がしますか。

じっと目をつぶる。すると何が見えてきますか。

問いと答えと、今あなたにとって必要なのはどちらですか。

これだけはしないと心に決めていることがありますか。

いちばんしたいことは何ですか。

人生の材料は何だと思いますか。

あなたにとって、あるいはあなたの知らない人々にとって、幸福って何だと思いますか。

時代は言葉をないがしろにしている。

あなたは言葉を信じていますか。

\*\*\*

礼拝映像はこちらです

<https://youtu.be/PiWmx3qz7al>